



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月7日

上場会社名 サンリン株式会社 上場取引所 東
コード番号 7486 URL <https://www.sanrinkk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩原 規男
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 小原 正彦 TEL 0263-97-3030
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,814	△9.1	△57	—	339	—	255	—
2024年3月期第1四半期	6,396	△1.2	△82	—	21	△80.9	1	△97.7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 579百万円 (314.7%) 2024年3月期第1四半期 139百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	20.87	—
2024年3月期第1四半期	0.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	26,868	19,912	74.1
2024年3月期	27,770	19,603	70.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 19,911百万円 2024年3月期 19,602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期 (予想)	—	0.00	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	11,000	△13.3	100	—	400	846.4	270	172.2	22.07
通期	30,000	△6.4	700	14.2	1,200	27.6	800	14.2	65.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	12,300,000株	2024年3月期	12,300,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	65,792株	2024年3月期	65,792株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	12,234,208株	2024年3月期1Q	12,280,410株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動の正常化による人流増加や訪日外国人の増加によるインバウンド需要の回復に加え、賃上げトレンドの継続も下支えとなり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、ロシア・ウクライナや中東地域等の不安定な国際情勢、円安に起因する物価上昇や少子高齢化に伴う労働不足等が深刻となっており、依然として先行きは不透明な状況が継続しております。

当社グループ関連のエネルギー業界に関しましても、ロシア・ウクライナ情勢や中東情勢等の長期化による資源価格及びエネルギー価格の高止まりが継続していることに加え、「物流の2024年問題」をはじめとした国内外における輸送コストの上昇も影響を及ぼしており、当社を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは地域密着型生活関連総合商社としてエネルギーの安定供給に努めるとともに、「中期経営計画(2022～2024年度)」の最終年度として2024年度をスタートいたしました。

主力でありますLPガス事業におきましては、春先の気温が低めに推移したこと等により販売数量は前年同四半期比で増加となりました。

石油事業の給油所におきましては、前年度末1給油所を閉鎖しましたが、行動制限解除による県外からの観光客の増加等により、セルフ給油所を中心として販売数量が増加いたしました。石油類全体につきましては、灯油販売において価格が高値で推移したことや気温が前年に比べて高温で推移している等の影響から減販となり、全体の販売数量は前年同四半期比で減少となりました。

電気事業におきましては、契約件数は前年同四半期比増加したものの、2024年4月より小売電気事業を取次業者へ移行したことに伴い手数料売上のみを計上へ変更したことから、売上高は前年同四半期比で減少となりました。一方、太陽光発電システムや蓄電池、電気自動車の家庭用充電設備(V2H)の販売におきましては、創エネや蓄エネへの関心の高まりに加え、高騰した電気料金削減への意識を反映し、受注は堅調に推移いたしました。

機器販売・リフォーム事業におきましては、6月に開催した「紙面・バーチャル展示会」において季節商品や断熱リフォームなど省エネ性や快適性などを訴求ポイントとして積極提案した結果、成約は前年を大きく上回る実績となり、機器販売・リフォーム事業の売上高は前年同四半期比で増加となりました。

また、子会社におきましては、不動産事業において宅地分譲が減少したことにより、売上・利益とも前年同四半期比で減少となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、LPガス、機器販売及びリフォームの増収要因はあったものの、電気事業における取次業者への移行に伴う売上計上方法変更や不動産事業の減収の影響等により、5,814百万円(前年同四半期比9.1%減)となりました。

利益面におきましては、賃上げによる人件費の増加や配送コストの上昇等の要因により販売費及び一般管理費が増加したこと、営業損失57百万円(前年同四半期は82百万円の営業損失)となりました。経常利益は子会社において設備投資に対する交付金を計上したこと、339百万円(前年同四半期は21百万円の経常利益)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は255百万円(前年同四半期は1百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(エネルギー関連事業)

LPガスの販売数量は増加したものの電気事業における取次業者への移行に伴う売上計上方法変更等により、売上高は5,120百万円(前年同四半期比8.1%減)となりました。セグメント損失は、販売費及び一般管理費の増加要因はあったものの42百万円(前年同四半期は74百万円のセグメント損失)となり、前年から改善いたしました。

(製氷事業)

大口取引先への売上が減少したこと、売上高は87百万円(前年同四半期比4.5%減)となりました。セグメント損失は新工場の償却費や光熱費の減少等により2百万円(前年同四半期は7百万円のセグメント損失)となり、前年から改善いたしました。

(青果事業)

きこの類の出荷量増と販売価格の高値推移等により、売上高は497百万円(前年同四半期比4.2%増)となりました。セグメント損失は(株)えのきボーヤにおいて新バイオマスボイラー稼働に伴い償却費等を計上したこと、46百万円(前年同四半期は20百万円のセグメント損失)となりました。

(不動産事業)

宅地分譲の販売が減少したこと、売上高は14百万円(前年同四半期比91.1%減)となりました。セグメント損失は売上高減少の影響等により6百万円(前年同四半期は10百万円のセグメント利益)となりました。

(その他事業)

運送事業・建設事業等のその他事業におきましては、運送事業において配送運賃の値上げ等の影響により増収・増益となったことから、売上高は94百万円(前年同四半期比3.9%増)、セグメント利益は16百万円(前年同四半期比74.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比901百万円減少し、26,868百万円となりました。その主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少を主因とした流動資産の減少1,342百万円、投資そ

の他の資産の増加421百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比1,210百万円減少し、6,956百万円となりました。その主な要因は、支払手形、買掛金及び電子記録債務の減少893百万円等によるものであります。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加等により前連結会計年度末比309百万円増加し、19,912百万円となりました。この結果、自己資本比率は74.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、取扱い商品の性質上季節的変動が大きなLPGガス及び石油類等のエネルギー関連事業の第3四半期及び第4四半期に占めるウェイトが高く、また為替や原油価格の動向、燃料類の仕入価格や気候の変動等、当社グループの売上高及び利益面における価格並びに数量に対し不確定な要素を含むため、現時点では2024年5月10日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,560	7,096
受取手形、売掛金及び契約資産	※ 4,433	※ 2,624
電子記録債権	※ 258	※ 174
商品及び製品	1,587	1,706
仕掛品	39	37
原材料及び貯蔵品	464	457
その他	245	149
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	13,578	12,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,212	10,222
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,740	△7,785
建物及び構築物 (純額)	2,472	2,436
機械装置及び運搬具	5,716	6,070
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,019	△5,022
機械装置及び運搬具 (純額)	696	1,047
工具、器具及び備品	3,381	3,388
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,974	△2,993
工具、器具及び備品 (純額)	407	394
土地	4,455	4,455
建設仮勘定	426	145
有形固定資産合計	8,459	8,480
無形固定資産		
その他	189	187
無形固定資産合計	189	187
投資その他の資産		
投資有価証券	5,140	5,576
繰延税金資産	113	101
退職給付に係る資産	4	1
差入保証金	141	141
その他	172	173
貸倒引当金	△30	△29
投資その他の資産合計	5,542	5,964
固定資産合計	14,191	14,632
資産合計	27,770	26,868

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※ 1,720	※ 819
電子記録債務	※ 556	※ 562
短期借入金	2,625	2,655
1年内返済予定の長期借入金	62	58
未払法人税等	198	0
賞与引当金	268	111
その他	926	796
流動負債合計	6,358	5,003
固定負債		
長期借入金	349	335
繰延税金負債	230	425
役員退職慰労引当金	203	170
退職給付に係る負債	704	702
資産除去債務	155	156
その他	166	163
固定負債合計	1,809	1,953
負債合計	8,167	6,956
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,512	1,512
資本剰余金	1,248	1,248
利益剰余金	15,581	15,566
自己株式	△44	△44
株主資本合計	18,298	18,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,310	1,632
退職給付に係る調整累計額	△6	△4
その他の包括利益累計額合計	1,303	1,627
非支配株主持分	0	0
純資産合計	19,603	19,912
負債純資産合計	27,770	26,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,396	5,814
売上原価	5,020	4,340
売上総利益	1,375	1,473
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△1	△0
給料及び手当	468	478
賞与引当金繰入額	86	89
退職給付費用	20	22
役員退職慰労引当金繰入額	7	8
その他の人件費	154	165
減価償却費	101	98
消耗品費	172	169
その他	448	499
販売費及び一般管理費合計	1,458	1,530
営業損失(△)	△82	△57
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	76	82
受取賃貸料	8	8
持分法による投資利益	—	1
補助金収入	—	260
その他	38	48
営業外収益合計	124	402
営業外費用		
支払利息	1	2
持分法による投資損失	15	—
その他	2	3
営業外費用合計	19	5
経常利益	21	339
税金等調整前四半期純利益	21	339
法人税等	20	83
四半期純利益	1	255
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1	255

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1	255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129	296
退職給付に係る調整額	1	1
持分法適用会社に対する持分相当額	8	26
その他の包括利益合計	138	324
四半期包括利益	139	579
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	139	579
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日又は決済日をもって決済処理をしております。なお、当第1四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が第1四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
受取手形	21百万円	13百万円
電子記録債権	20	23
支払手形	5	1
電子記録債務	121	104

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	162百万円	164百万円
のれんの償却額	5	8

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他(注)	合計
	エネルギー 関連事業	製氷事業	青果事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,572	91	477	164	6,305	90	6,396
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	39	—	0	—	39	250	290
計	5,612	91	477	164	6,345	341	6,686
セグメント利益又は 損失(△)	△74	△7	△20	10	△92	9	△82

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、建設事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△92
「その他」の区分の利益	9
セグメント間取引消去	0
棚卸資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△82

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他(注)	合計
	エネルギー 関連事業	製氷事業	青果事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,120	87	497	14	5,719	94	5,814
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	46	—	—	—	46	263	309
計	5,166	87	497	14	5,766	357	6,124
セグメント利益又は 損失(△)	△42	△2	△46	△6	△97	16	△81

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、建設事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△97
「その他」の区分の利益	16
セグメント間取引消去	24
棚卸資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△57

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。